

会議録

件 名	第 1 回文化財保存活用地域計画作成協議会	作成課	教育委員会 管理部文化財課
日 時	令和 6 年 2 月 6 日（火） 10 時 00 分～ 11 時 55 分		
場 所	教育総合センター 2 階 女性第 1・第 2 研修室		
出席者	文化財保存活用地域計画作成協議会委員 15 人（代理出席 1 人）		
会 次 第	<p>○協議</p> <p>(1) 文化財保存活用地域計画について</p> <p>(2) 文化財について</p>		
主な内容等	<p>(○委員 ●事務局)</p> <p>(1) 文化財保存活用地域計画について</p> <p>○担い手不足、財源問題など課題も多いので、未来に向かって何を残していくのか検討する時期にある。そのためにも未指定文化財リストの作成と、地域の人たちと現在あるものの価値を共有していく場が大事だと思う。</p> <p>●ワークショップは総合計画の 14 地区ごとに、地域の文化財の掘り起こしをしたいと考えている。未指定文化財リストは、計画作成にあたり文化庁への提出が必須となっているが、正解があるわけではない。計画作成後は、未指定文化財リストの定期的な更新作業についても検討する。</p> <p>○マスタープラン兼アクションプランとの事だが、計画期間は何年になるのか。</p> <p>●この計画については何年計画にしなければならないという縛りは無いが、総合計画との整合性なども踏まえ、今後検討する。</p> <p>○協議会と文化財審議会の連携が必要。協議会で「このような活用をしたい」と考えても、審議会で「そんな活用はできない」という事もある。</p> <p>●意見の整合性が取れるような方策についても今後検討する。</p> <p>○多様な方々がつながって活用を考えていかないといけない。文化財は「学術的・歴史的・美術的・鑑賞的」価値に加えて「貢献的・心情的」価値もある。計画を作るだけでなく、色々なところでアクションが起き、それらが計画をベースにして進んでいけばよい。</p> <p>○保存・活用という流れできているが、歴史や文化に関心のある人は何もなくても来る。関心のない人たちに、どのように関心をもってもらうか、市民に対して文化に触れるような機会を作っていく方がよい。今後の会議の中で、市民への浸透についても語ればよい。</p>		